



QRコードから、ぜひ印刷労連のHPもご覧ください。

連合印刷労連労働相談ダイヤル
03-5442-0191

印刷労連 結成 30 周年記念行事各地方協議会で開催される

～ コロナ禍において各地方協議会が工夫を凝らして取組まれた内容をご紹介します ～

1. 北海道地協	記念品 (図書カード頒布)	7. 愛知地協	学習会&記念品 (クオカード頒布)
2. 宮城地協	フォトコンテスト開催	8. 京滋地協	記念品 (図書カード頒布)
3. 関東北部地協	おんらいん日本酒学習の旅・オンラインパーティ	9. 大阪地協	石黒由美子氏記念講演
4. 関東南部地協	鈴木哲夫氏政治講演・ノベルティ頒布	10. 福岡地協	学習会開催
5. 長野地協	記念品 (八幡屋磯五郎七味セット頒布)	11. 熊本地協	学習会開催
6. 石川地協	記念品 (図書カード頒布)		

宮城地方協議会 結成 30 周年記念フォトコンテスト

新型コロナウイルス感染防止対策により、新しい生活様式に合わせた働き方が急速に浸透しています。一方で、職場でのコミュニケーションやイベントを通じた人との交流が希薄化しています。印刷労連は結成 30 周年を迎え、印刷労連宮城地協はコロナ禍で出来る組織交流を模索してきました。今回、誰でも参加できるイベントとして、「結成 30 周年記念フォトコンテスト」を開催し、組合員とご家族が、少しでも楽しい時間を過ごしていただく行事としました。(開催期間 2021 年 4 月 19 日(月)～2021 年 5 月 20 日(木))

【報告者 宮城地協 議長 亘理 比呂樹】

関東南部地方協議会 結成 30 周年記念セミナー「鈴木哲夫氏講演会」

去る 5 月 8 日(土)「結成 30 周年イベント」を各種メディアでご活躍されている政治ジャーナリスト鈴木哲夫様をお招きし開催しました。講演テーマは、都議選や衆院選を前にした政治のゆくえや、コロナ禍における政治・経済や暮らしなど幅広くお話を頂き、大変勉強になりました。当日は緊急事態宣言期間中であり、祝賀会などリアル開催がとても難しい中、オンラインでの開催様式になりました。とはいえ IT の利点をフル活用し、南部地協現役・OB はもとより、あまねく全国の印刷労連関係者にもお声がけすることができ、総勢 60 名がオンライン上で繋がりました。リアル開催では到底できなかったことです。

開催後は記念のノベルティ(写真参照)を構成組織の企画制作により頒布いたしました。また本年度、コロナ禍で実施を見送った連合東京主催「雪国ボランティア」でしたが、例年参加していた青年委員会の発案で、ささやかな地域経済支援ではありましたが、新潟県高柳町石塚酒造様の銘酒を購入し、周年祝酒として参加者に頒布いたしました。関東南部地協は、今後も同じ地域で働く同業＝ビジネス上は時にライバルではありますが、ともに寄り添い支え合い、印刷産業の持続的な発展に向け活動してまいります。

【報告者 関東南部地協 議長 高橋 康】



政治ジャーナリスト鈴木哲夫氏



講演の様子



ノベルティ頒布
缶ミラー

関東北部地方協議会「おんらいん日本酒学習の旅」 & 「結成 30 周年記念オンラインパーティ」

印刷労連結成 30 周年を記念し、関東北部地協組織交流会として、「おんらいん日本酒学習の旅」 & 「印刷労連結成 30 周年記念オンラインパーティ」を 6 月 5 日(土) に開催しました。印刷労連本部、北部地協 OB にもご参加いただき、総勢 35 名の方々とともに 30 周年をお祝いしました。冒頭には初代議長の小川様からご挨拶をいただき、北部地協への思い、現役メンバーへ期待のメッセージをいただきました。

「おんらいん日本酒学習の旅」では、兵庫県「白鶴酒造株式会社」より、オンラインにて工場内を案内していただき、日本酒の製造工程や SDGs の取り組み等を学ばせていただきました。また、白鶴酒造を感じていただくために事前に試飲セットをお配りし、日本酒を味わいながら見学をしました。

「記念パーティー」では、OB の方々の思い出話にも花が咲き、今後の印刷労連のあるべき姿、北部地協の役割なども考える充実した時間になりました。これを機に改めて歴代の先輩方々の功績に感謝しつつ、さらなる発展を図るべく現役メンバーで連携をとりながらしっかり活動していきたいと思えます。 【報告者 関東北部地協 議長 嵯峨 友成】



おんらいん日本酒学習の旅の様子



オンラインパーティーの様子 乾杯！

大阪地方協議会 結成 30 周年記念「石黒由美子氏講演会」

6 月 5 日(土) 大阪地協主催「印刷労連結成 30 周年記念講演会」を印刷労連本部から佐藤委員長をはじめ、本部役員、各地協幹事、各労組組合員、地協 OB の方などを含め総勢 60 名の皆さんに参加をいただき、Zoom ウェビナーにて開催しました。

当日は講師に元シンクロナイズドスイミング日本代表で 2008 年北京オリンピックに見事初出場を果たされた石黒由美子さんをお招きし、「夢をあきらめない」というテーマでご講演をいただきました。

小学 2 年生の秋、交通事故に遭遇し、顔面を 540 針、口の中を 260 針縫う大けがを負われましたが、治療中にテレビで見たシンクロナイズドスイミングに憧れ、翌年から競技を始め、記憶喪失や顔面まひ、視力障害、難聴などの様々な後遺症に苦しみながらも、お母様と二人で夢の舞台であるオリンピックを目指し、2008 年北京オリンピックに見事初出場を果たされました。

幼少期ではお母様の「明るく前向きポジティブに」という子育ての対応のもとご自身も前向きに物事を考えることになり、その時に今も続けておられる「夢ノート」を書き始め、将来像を描き、実現に向けて様々な取り組みをされた内容について熱く語っていただきました。 【報告者 大阪地協 議長 石山 浩司】



シンクロナイズドスイミング
元日本代表 石黒由美子氏



主催者代表挨拶 石山議長



閉会挨拶 大上事務局長

熊本地方協議会 結成 30 周年記念学習会

5月22日(土)、外部の会議室を利用し地協幹事メンバーにて「労働運動の課題と今後」というテーマで研修会を実施しました。学習の狙いとして、大きく4つ「労働運動の歴史を振り返る」、「分裂と統合を繰り返す労働組合の存在とは」、「時代の中で見る労働組合の役割とは」、「労働運動の課題と今後の展望」という内容で小山議長より講義をいただきました。

研修会を通して、労働組合は従業員の代表であり株主とは別の議論ができる組織である事。会社の置かれている状況や業績、組合員が望むものは、など直接的または間接的な観点で将来を見つめる環境が必要な事。更には課題解決と組合員に寄り添った活動を展開することで自然と今後の展望が見えてくるなど、改めて組合活動の意義を勉強する事ができ、今後の活動へ活かせる内容の研修会となりました。

【報告者 熊本地協 事務局長 宮田 退時】



研修会の様子

女性活躍推進活動報告

~~女性活躍推進活動もアイデアを出しあって活発に展開されております~~

関東南部地方協議会

関東の梅雨入りも間近に迫る6月12日(土)、関東南部地協と青年委員会共催の第2回女性活躍推進会議をオンラインにて開催しました。当日は、各構成組織や地方協議会の女性組合員と印刷労連本部から穴戸中央書記長、古賀副中央書記長も参加され、総勢52名が参加しました。

テーマは「心と体のメンテナンス術」としてIORIの池田美帆様を講師にお招きし、心が元気になる講義と体が軽くなるエクササイズを実施しました。人生で大切なことの一つに人間関係があります。友達、配偶者、親子、同僚など、様々な関係がある中でも自分自身との関係が最も大切です。講義では、アドラー心理学をベースに自分自身への「勇気づけ」について「ほめると勇気づけの違い」「天使のささやき、悪魔のささやき」など、実習を交えて学び、後半では座ってできる簡単なエクササイズを実践し、実際に体が軽くなる感覚や呼吸が改善されることで、心にも変化がみられることを実感することができました。

印刷業界で働く各々の状況は必ずしも一律ではありませんが、関東南部地協は女性活躍の取り組みを通じて、一人でも多くの人を勇気づけられる活動を心がけていき、印刷産業の発展につなげてまいります。【報告者 関東南部地協 副議長 田中英海】



講義に参加された皆さん



講義の様子

